

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県とする。

2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法

質問は電話及びメールによるものとする。

添削担当講師：別添カリキュラム参照

電話番号 072-831-1156 (受付時間 午前10時～午後5時)

メールアドレス ycc-c@little-w.or.jp

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施 できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	3 時間	5 時間
(3) 介護の基本	0 時間	3 時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	3 時間	7.5 時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	0 時間	3 時間
(6) 老化の理解	2 時間	3 時間
(7) 認知症の理解	2 時間	3 時間
(8) 障がいの理解	0 時間	1.5 時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	11 時間	12 時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は2回に分けて配布します。

第1回目の配布日は開講式の日到手渡し、60日後の受講日までに提出、

第1回目回収日から、10日目以降の受講日に、第2回目を配布。

第2回目配布日から、60日後までに提出します。

5 通信学習課題

- ① 課題種類数 2種類

- ② 出題形式

- ・第1回目課題 五肢択一形式51問(1問2点 102点)、
記述形式3問(3問8点 24点)、記述形式7問(7問7点 49点)
語群選択形式25問(3点×1 25点)
全86問 200点満点

- ・第2回目課題 五肢択一形式52問（1問3点 156点）、
記述形式2問（8問5点 40点）、記述形式1問（4点）
全61問 200点満点

出題数

- 第1回目課題 （2）介護における尊厳の保持・自立支援 20問
（4）介護・福祉サービスの理解と医療の連携 18問
（6）老化の理解 11問
（7）認知症の理解 17問
- 第2回目課題 （9）こころとからだのしくみと生活支援技術 61問

6 評価基準

満点を200点とし、120点以上を「合格」とする。

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再提出日は、次回受講日とする。

7 通信添削業務受託事業者

(1) 自社で実施する。

(2) 委託先研修機関

法人名称		
所在地		
連絡先		
ホームページ		
指定番号		
研修実績	研修実施期間	
委託契約期間	年 月 日から 年 月 日まで	

※委託期間は1事業年度内（4月1日から翌年3月31日までの間）とすること。